

IEEJ Industry Applications Society News Letter

電気学会産業応用部門ニュースレター 2009年1月号 (http://www2.iee.or.jp/ver2/ias/22-newsletter/nl_2009.html)

「初の海外学会との合同国際研究会」

電気学会産業応用部門
半導体電力変換技術委員会・国際研究会担当委員
西田 保幸
〔日本大学工学部〕



我々電気学会・産業応用部門では、日中韓3国のパワエレ関係国際会議の協調開催を取り決めるなど、国際化を積極的に進めている。このたび、その一施策として初の国際研究会を海外学会と合同で開催したので本稿で紹介する。

この国際研究会は、我々産業応用部門とKorean Institute of Power Electronics (KIPE) の双方のSPC技術委員会が合同で開催したもので、各セッションでは座長を双方から出して講演を韓日交互に行ったり、合同懇親会を設けたりして、技術・文化の両面での韓日交流を図った(表1 参照)。

本国際研究会は9月26日(金)午前中のKorean Institute of Energy Research (KIER)の見学会で始まり、各種エネルギーの研究を行っている同研究所の全容の説明を受けた後、ソーラーシステム、FCシステム、ハイブリッド電気自動車などの研究施設を見て回った。昼食後に同研究所内で開かれた合同国際研究会では韓日合計14件の発表が行われ、活発な質疑や意見・情報の交換が行われた。研究会後はKyung-Hoe-Lu(韓国料理レストラン)に移動して合同懇親会を開き、韓国料理を楽しみつつ交流を深めた。同懇親会では韓国側から40余名の参加があり、韓国パワエレ界における韓日交流の意識の高さを感じた。

第2日目(9月27日(土))には朝から午後3時まで韓日合計20件の発表を行い、相変わらず活発な質疑や意見・情報の交換が行われた。前夜の懇親会に続いてこの日の昼食も韓日参加者が一緒にいただき、さらに交流を深めた。

研究会最後に韓国側世話役のJaeho Choi先生(Chungbuk大学)を座長としてクロージングセッションを開き、今後の我々産業応用部門とKIPEとの交流について意見交換を行い、「これを契機にこのような合同国際研究会スタイルで両国のパワエレエンジニア間の密な接触を定期的に持ちたい」、「両国関係者が一体化して運営する国際研究会としていきたい」、「他の近隣諸国・地域のパワエレエンジニアも参加してもらえる様に行きたい」などの意見が出され、この合同国際研究会の第2回を来年日本で開催する事とした。現在、日本側世話役の筆者、伊東淳一先生(長岡技大)と韓国側世話役Jaeho Choi先生の間で具体的な検討を進めている。

この様に韓国パワエレ界の方々の方々の厚意に触れつつ第1回合同国際研究会を終えた。今後、関係各位の協力を賜りながらお隣・韓国とのさらなる交流発展に世話役として微力ながら励みたい。

表1 合同国際研究会の概要

開催日時：平成20年9月26日(金)～27日(土)
場所：韓国・大田(Daejeon)市
研究会：9/26午後 Korean Institute of Energy Research
9/27午前 Yujinホテル
講演数：日本側18件(韓国側16件)(2日間の合計)
参加者数：日本側 約30名, 韓国側 約30名
見学会：KIER(9/26午前)(参加者数：20名 日本側のみ)
懇親会：Kyung-Hoe-Lu(参加者数：日本側29名, 韓国側42名)



セッション風景 (Jaeho Choi 先生のクロージング, Yujin ホテル)